

第3回町田市市民センター等の未来ビジョン推進委員会 議事録(要旨)

日時: 2022年4月18日(月) 16時00分~18時00分

場所: 町田市庁舎3階第1委員会室及びリモート会議

出席者: 磯崎委員、前田委員、神山委員、長谷川委員、大倉委員、實方委員、佐野委員、庄司委員

事務局: 樋口市民部長、中村市民総務課長

(市民総務課)戸上、濱田

オブザーバー: 石田市民協働推進課長、牧市民課マイナンバー担当課長、鎌野市民課担当課長、

塩田忠生市民センター長、勝又鶴川市民センター長、櫻井南市民センター長、

鈴木なるせ駅前市民センター長、桑原堺市民センター長、田中小山市民センター長

次第:1 第2回推進委員会の議事確定

2 議事 町田市市民センター等の未来ビジョンに基づく取り組み(骨子)について

議事 町田市市民センター等の未来ビジョン前期実行計画(素案)について

3 その他

資料: ・資料1:町田市市民センター等の未来ビジョンに基づく取り組み(骨子)

・資料2:町田市市民センター等の未来ビジョン前期実行計画(素案)

・資料3:施設案内予約システムの利用状況

1 第2回推進委員会の議事確定

○事務局より、第2回の議事録案を確認。

○委員より質疑なし。

○委員長より議事録案を、確定版にすると宣言。

2 議事

(1)町田市市民センター等の未来ビジョンに基づく取り組み(骨子)について

○事務局より、資料1「町田市市民センター等の未来ビジョンに基づく取り組み(骨子)」について説明。

(意見交換)

■委員長

前回から持ち越した意見として主に3点あった。1点目、前田委員より、地域市民相談室の位置づけについてご意見をいただいた。こちらについては、施策1-(2)-②「行政窓口での相談・支援」の取り組み内容として「地域市民相談室の拡充」として表記し、施策3-(1)-①「相談体制の充実」に再掲と位置付けて表記をした。2点目、神山委員より、「2 ソフト・魅力」や「3 地域コミュニティ」の指標、目標について、特定のリピーターのみが固定化して利用するのではなく多様な方々に使用してもらおうということが公共施設として重要であり、新規の利用者や団体の利用が広がるようにニーズの調査が必要ではないかというご意見をいただいた。このことについて事務局より資

料 3 を説明いただきたい。3 点目、佐野委員より、「情報発信の強化」について具体的なご提案をいただけることであつたので今回お話しをいただきたい。

○事務局より、資料 3「施設案内予約システムの利用状況」について説明。

■委員長

資料 3 から、リピーターのみではなく、新規登録者も増加していることが読み取れるが、今後はその傾向を増やしていく為に PR 等を行っていくことが重要である。

■委員

「情報発信の強化」の具体的な例としては、NPO での「地域ベンチャー留学」というプログラムが挙げられる。こちらは長期休みを利用して、学生がインターン生として地域に関わるといった内容であるが、その中身として SNS 等を通じた市民センターの認知の向上を行うことが挙げられる。地域ベンチャー留学については、大学の方で事務局として関わっているため協力していきたい。

■委員長

行政活動への従事については、公務員を目指す学生にとっても良い機会であり、市民センターの認知、魅力の向上の方法についても提案をしてもらい良い方法であるかと思う。このことについて事務局の方で、可能性についてお聞きしたい。

■事務局

市の SNS による情報発信については、なかなかリアルタイムの状況を発信することができていない現状がある。情報の幅を広げるといった視点で大変参考になった。各市民センターやコミュニティセンターで、NPO や地元の大学生と連携をしながら運営をしているところもあるので、可能かと思われる。何らかの形で盛り込んでいきたい。

(2) 町田市市民センター等の未来ビジョン前期実行計画(素案)について

○事務局より、資料 2「町田市市民センター等の未来ビジョン前期実行計画(素案)」について説明。

(意見交換)

■委員長

全体は大きく 4 つの柱に分かれている。前半として「1 サービス・利便性」「2 ソフト・魅力」として意見交換を行っていききたい。

■委員

1 点目、P3 の計画期間の表には中期と後期の実行計画について、年次は記載をしないのか。2 点目、P6 の指標の市民満足度について測定方法等、内容を確認したい。3 点目、P11 指標の 2 つ目のコンビニ交付利用率について、2021 年度の 3 月末 24%で 2026 年度 32%とあるがその算定根拠は何なのか確認したい。4 点目、P14 指標の Wi-Fi 設置施設数について目標値が 13 施設とあるが、全体の施設数について確認したい。

■事務局

1 点目について、「市民センター等の未来ビジョン」は、2027 年度に中間見直しを予定しており、状況に合わせて見直しをしていくとしている。2027 年度以降の実行計画の年次は現時点で固まっていないため、今回策定している前期実行計画に、中期・後期の実行計画期間を記載するかについては事務局の中で整理をさせていただきたい。2 点目について、市民満足度については、インターネットもしくは市民センター等へ来場された市民の方に直接アンケートを取らせていただき、その回答によって測っているものである。

■オブザーバー

3 点目について、市の窓口全体の証明書発行数を 100 とし、その内コンビニでのマイナンバーカードを使用した発行割合となっている。マイナンバーの普及や制度認知により、証明書発行数については徐々に増えてきている。

■事務局

4 点目について、市民センターとコミュニティセンターは全部で 14 カ所であるが、そのうちの一つである上小山田コミュニティセンターについては忠生市民センターと一体運営のイメージを現時点で持っており、資料作成時点では全 13 施設と整理させていただいた。今後整理させていただきたい。

■委員長

2 点目の市民満足度についてはインターネットでのアンケートを含めていること、4 点目の施設数には全施設ということ、それぞれ注記表記しても良いかと思われる。3 点目については、実行計画の年数と計画期間が明確でないということであるので表記が難しく思うが、26 年度までの 5 年間というこの計画の計画年次ははっきりしているということである。

後半として、「3 地域・コミュニティ」、「4 コスト・民間協働」について意見交換を行わせていただく。

■委員

P21 について、指標の「地域団体の施設利用件数」については 2019 年度時点であるのは何故なのか。

■事務局

目標指標については、ビジョンを策定した 2020 年度に作成した時点での指標を記載させていただいた。

■委員

1 点目、全体的に本計画で設定している目標値の立て方の考え方について伺いたい。目標が少しハードルが高くなってはいないか。2 点目、マイナンバーカードの普及促進についての指標であるマイナンバーカード取得率について 100%とあるが、この数値設定の考え方について確認したい。

■事務局

ハードルについては高いものかもしれないが、目指すべき数値として置いている。施設の利用率については稼働率が施設毎に様々であるが、「2-(1)-② 施設利用ルールの見直し」の取り組みの目標値は、市全体の受益者負担の考え方を参考にして、利用率の目標値を 70%としている。なお、この 70%という数値については、市民センター等だけではなく他の町田市の施設全体にかかる割合になっている。

■オブザーバー

マイナンバーカードの指標について、町田市では、2022 年度中の目標を 70%としている。一方で、交付状況については国が進捗管理をしており、2022 年度末までに国としては 100%と指示が出ている為、この計画上の数値としては 100 という数値とした。現実にはこれから国の全体の交付率などを見ながら修正をしていくことになると予想される。

■委員

1 点目、P26 および P28 の指標について、P26 は「民間協働により管理運営する施設数」となっており、P28 は「指定管理者導入等の導入」と相違があるが何故なのか。2 点目、P21 の指標について、地域団体の施設利用件数には、地域で活動するさまざまな団体があるが、ここには NPO 法人などの市民活動団体は含まれるのか。

■事務局

1 点目について、P26 には未来ビジョン掲載の表現を使用し、P28 には実行計画として具体的な内容を記載したものとされている。今後、整理していきたい。2 点目については NPO 法人などの市民活動団体は含まれる。

■委員

表記の仕方についてであるが、P21 について、「町内会・自治会をはじめとした地域で活動するさまざまな団体が連携協力して」と記載があるが、ここまでの地区協議会について言及している範囲だと思う。「地域の魅力向上と情報発信、地域課題の解決に取り組むネットワーク組織」の記載については地区協議会としての範囲ではないように思えるが、書きぶりは整理出来ないか。

■事務局

現在の表記については、未来ビジョン掲載の表現となっているため、変更は難しい。ページ内に表現を加える等の工夫は可能である。現状、地区協議会によっても活動内容はまちまちであると思うが、現在のP21 の書きぶりは従来から市が地区協議会を説明する際に使用しているものである。

■委員

地区協議会について、現状としては若者の参加については難しい地域もある。ビジョンにもこのように位置づけられているということで今後は広がっていくと想定されるので、現状について踏まえた表現をしてもらえばと思う。

■委員

1 点目、P18 の施設利用率について 70%と表記がされているが、夜間の開放の必要性について確認したい。2 点目、P20 の共用スペースとは、常時開放をしておくフリースペースと想定しているのか確認したい。3 点目、P23 の相談窓口については人材がどのくらい配置できる想定であるのか確認したい。4 点目、前半の内容であるが、P8 のマイナンバー普及促進についての今度の取り組みについて確認をしたい。

■事務局

1 点目について、夜間の利用については、SDGS の観点からも利用がない場合は開放しないことも一つの方法かと思われる。一方で 2020 年 4 月から夜間の利用料が学生は半額になる取り組みも行っており、施設によっては利用が増加しているところもある。実行計画における具体的な取り組みとして、是非ご提案をいただきたい。2 点目について、施設によって稼働率に差がある。常時開放のフリースペースとすることが難しい施設もある。日によって解放の部屋を設けたり、稼働率が低い部屋は常時開放にするなど、地域によって必要をされる機能について、地域の皆様と連携して検討することがビジョンにも載っているのので、そういった内容についても整理もしていきたい。3 点目について、地域福祉コーディネーターについての具体的なスケジュール感についてはこれからの検討になる。

■オブザーバー

4 点目について、マイナンバー普及促進については活用方法の周知が大きな課題だと認識している。また、デジタル手続きが苦手な方に対する案内についても引き続き強化をしていきたい。

■委員

「地域と連携した情報発信」について、市役所の SNS を見る若者が少ない様感じる。情報については若者から若者に広がり易いと思われるので、周知の方法として、イベント等を行った際に QR コードの掲載などでアクセス及び位置情報をつけた発信してもらおうといった方法があるかと思う。

■委員

「地域と連携した情報発信」について、表記については問題が無いと思うが、学校との連携というのはハードルが高いといったことはあるのか確認したい。

■事務局

センターにより地域の大学との連携も行っている。今後は具体的な取り組みについては記載をしていく必要が

あるかと考えているが、構成については未来ビジョンにも掲載した様にコラムといった形で紹介をすることも可能かと思う。

■委員長

日時をしっかりと目標を明確にするということがポイントかと思われる。またコラムについては、具体的なイメージの湧くような、アイデアについても掲載すると良いかと思われる。

■委員

P28 について、指標「市民センター等への指定管理者制度等の導入」について、11 施設とのことだが、2026 年までに全体の施設を行うことは難しいのか。

■事務局

建物毎の契約終了時期での導入を想定しているため、実行計画への掲載については2026年度までに導入する施設数の表記になっている。

■委員

1 点目、導入施設数については 2026 年度までではなく最終的な導入施設数についても記載をしたら良いかと思う。2 点目、P26 に事業者という単語が出てくるが、施設を管理する事業者と、地域の連携する事業者とを記載を分ける必要があると思われる。

■事務局

1 点目について、欄外等に記載を行いたい。2 点目について、事業者については全体を整理して注記または括弧表記で伝わる様に表記したい。

■委員長

非常に重要なお指摘ご質問等をいただき大変有意義な内容であったので、内容を反映するような形にしていければと思う。他に意見はないか。

○各委員、意見なし。

3 その他

○特になし。

以上